

<海洋生物飼育日誌>

2023年9月5日9時

天気 晴

水温 18.7℃

ヒラメとアワビは人が冷たいと感じる水温に維持する必要があるとされています。また、閉鎖循環系での飼育なので、排せつ物の蓄積・浄化や塩分上昇などにも注意を払い、通常海水水槽とALPS処理水添加水槽で違いが生じることのないよう水質を維持しています。(F)

海洋生物飼育における水質測定

水質項目	維持する目安	測定方法	備考
水温	17~19℃	熱電対法	
溶存酸素	80~100%(飽和度)	蛍光法	
塩分	30~33‰	屈折率法	飼育開始時の塩分32‰
pH	7.5~8.1	ガラス電極法	飼育開始時のpH 8.1 硝化(アンモニア→硝酸)に伴い低下
アンモニア	0.5 mg-N/L以下	インドフェノール青法	硝化細菌の働きにより硝酸に酸化
亜硝酸	0.5 mg-N/L以下	ナフチルエチレンジアミン法	
硝酸	50 mg-N/L以下	亜鉛還元法	脱窒菌の働きにより大気中に排出

※これまで水槽ごとの水質はトリチウムの濃度以外はほぼ同等(水槽間で異ならないように維持)



2022年10月3日
ALPS処理水を添加している様子